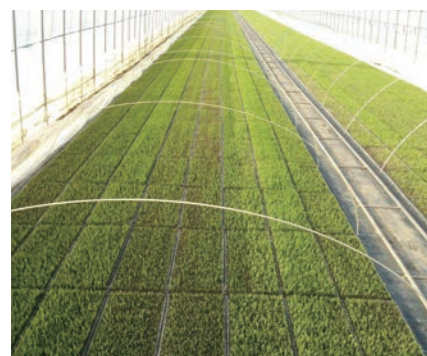


水稲用ロックウールマットの効果確認



JA北いぶき

松永 徹



試験区



試験区

試験目的

水稲用ロックウールマットの効果確認

試験作物 及び品種

水稲

試験資材 及び数量(規格)

クミアイこめパワーマット 1,000枚

慣行資材

培土

栽培方法

播種日

4月中旬

資材使用期間

4月～5月

試験区面積

160㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

軽いところはよかったがマットに跡がつきにくく、筋播きには向かないのではないかと感じた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

灌水方法が通常の培土と異なるため若干バラツキが発生した。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：培土よりも軽くて作業性が良い点。

【問題点】：マットが土より硬いので跡がつきにくく、筋播きには手間がかかる点。

(4)促成・抑制効果について

芽が出るのは培土よりも遅かったが、終盤には培土の生育に追いついた。

(5)保温効果について

マット内に水分が多く含まれているので、極端に温度の高低があると培土よりも影響を受けやすいと感じた。

モニター感想

重量が軽いところは作業にあたって非常に良かったと思うが、マットに跡がつきにくいので筋播きには不向きだと感じた。

また、予想以上に覆土の厚みが増えてしまったため、コストアップにつながってしまった。

JA担当者の感想(生産資材課 菅原 氏)

重量が軽いという点については、非常に魅力的な資材であるが、予想以上に覆土が多く必要だったということで、コストアップになってしまった。

また、当地区においては、マットの生産者は少ないため、現状では普及は難しいように感じた。

今後の使用について

改良して欲しい。

覆土の量が予想以上に多くなったため、コストアップになってしまった。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 生分解性マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 その他